

令和3年度人権作品最優秀賞

最優秀人権作文

〈小学生の部〉

言葉の重み「コロナハラスメント」

柞田小学校5年 高橋 倅丞

今、世界中には、新型コロナウイルスで苦しんでいる人たちがたくさんいる。ぼくは、ニュースやネットで毎日なくなった人や重しように化した人の数を耳にする度、とても悲しい気持ちになる。

今年のゴールデンウィークに、ぼくのおばさんがコロナ感染者の多い地いきから帰省した。数日間、いっしょに食事をしたり楽しんだりして楽しい時間を過ごした。しかし、おばさんが帰った後しばらくして、ぼくは、体調をくずしてしまった。熱とせきのしよう状が出て、周りの人から、「コロナに感染せんしたんじやないん？」と言われ、とても悲しい気持ちになった。それから病院でしん察してもらおうと、「胃腸えんです。」と言われ、ほっと一安心した。し

最優秀人権作文

〈中学生の部〉

無理解が偏見や差別を生む

大野原中学校2年 大山 遥光

学校で道徳の授業を何度も受けていく中で、普段から「人権」という言葉を意識するようになり、人権について考える機会が増えた。改めて人権作文を書くことになり、今も鮮明に残っている出来事を思い出した。

僕が幼い頃、母と行った買い物途中に腕の無い男性を見かけたことがある。どうして腕が無いのか母に質問すると、「生まれた時からか、病気やケガをしたからかなあ。」

という答えが返ってきた。その時僕は、生まれた時から腕が無いということを疑問に思った。当時の自分の中では、「生まれた時から腕がある」ということが当たり前で、腕が無いこともあるということを知らなかつたからだ。怖いという思いと同時に腕が無いことに悲しさを感じた。

自分の中の当たり前とは違う「状況」が理解できなかった。今は生まれた時から腕が無いのともあるのだと理解できているの

かし、コロナじゃないかと言われた一言が、ずっと心からはなれなかった。相手は、悪気もなく軽い気持ちで言った一言かもしれないが、その言葉はぼくを苦しめた。言葉のとらえ方は、人それぞれちがうと思う。言葉の持つ力は大きく、使い方を間ちがえば、人をきずつけるこわいきよう器に変わってしまう。自分が言う言葉には責任をもち、相手の立場になって考えてから言わなければいけないと思った。

いつコロナが落ち着くかはだれにも分からないが、いつかは以前のようなマスクのないくらしにもどれると信じている。今、コロナに感せんしている人たちが、他人から言われた言葉できずついているか心配だ。まず、一人ひとりが自分も感せんするかもしれないという気持ちで、周りの人に温かい言葉をかけることが大切だ。今、子どもも感せんも多くなっている。学校では、昨年から「ノーコロナハラスメント」を全校生で約束している。自分の口から発する一言一言の言葉の重みを考え、コロナだからこそ、言葉の力でみんなの心を明るくしたい。(原文とおり)

で同じ状況になっても怖さや悲しさは感じない。そしてこの経験を思い返して分かったことがある。自分が思っているだけの常識で考え方や思想を固めるのは危険だということだ。その偏った考えが人を差別することにつながってしまう。

僕の幼い頃の体験の話をした時、母も自分自身の体験を話してくれた。車イスを利用した人の介助を行うボランティアに参加した時のことである。母が介助した人は腕が萎縮していた。車イスに乗り換える時、腕を持つと痛いのではないかと思い、腕の代わりに服を挿んでしまった。直後に、しまったと思った。服を挿んだことで、相手の身体に触りたくないという誤解を与えてしまい傷付けたかもしれないと後悔したからだ。

この話をきいて僕は、母が感じた後悔とは何だったのかと気になった。自分が同じ状況を作ってしまったら、何を反省してどうするべきだったかを自分なりに考えた。この場合なら、萎縮していることを意識しすぎて、痛いのではないかと自分の想像だけで判断してしまった。その結果相手に誤解を与えかねない行動を起こしてしまった。これが僕の考える反省する点である。それでは、どうするべきだったのか。分からないことは相手に全部聞くこと。そして自

最優秀人権ポスター



常磐小学校2年 細川 紗雪



豊浜中学校1年 神木 駿介

最優秀人権書写



大野原小学校6年 齋藤 明里



観音寺中学校1年 向井 野々葉

分の想像だけで相手の状況や気持ちを判断しないこと。分からないことは直接本人に聞くことで、相手の気持ちにできるだけ寄り添った行動をとることができると思う。

このことを母と話し合う中で、なるほどと思ったことがある。コミュニケーションをとり相手を理解しようとする行動が大切だということだ。母の後悔は「腕をさわると痛いはずだ。」と自分の常識内で判断し、相手に確認することをおこたったこと。一言「ここを持つたら痛いですか?」と聞けばよかったということ。その時にちゃんと聞くというコミュニケーションをとってれば、相手にとっても自分にとっても最善の行動がとれていたはずだ。相手を理解しようとしなければ、意図して

いるいないに関係なく偏見や差別的な行動につながってしまうことがある。そう言われ、僕はハッとした。普段の僕はどうかだろうか自分の近頃の行動を思い返してみると、反省すべき点があるなど感じたからだ。僕は普段から困っている人を放っておけない性格である。だからこそ色々な人の助けになりたいと思いたい行動するのだが、時としてその行動が相手にとって余計だったり、逆に相手を怒らせたりしてしまう。それが何故かと考えた時、やはりその原因は相手

市では毎年、人権週間にちなんだ作品を市内小中学校から募集しています。その中から、最優秀賞に選ばれた作品を紹介いたします。 問い合わせ先 人権課 ☎23-13928

の話が聞かなかつたことだと思つた。行動する前に、何に困っているのか、助けが必要なことなのかなどを本人に確認していたら、良かれと思つてしたことで相手をかえつて傷付けたら怒らせたりしてしまうようなことは起こらなかつたはずだろう。相手にとって自分の行動が単なる押しつけになるというようなことも、なかつたはずだ。相手を理解しようと思つて傷付けたという点で、差別につながるかもしれないことだったのだ。そこに気づいたからこそ「理解しようとしなければ、それが偏見や差別につながる」という母の言葉は衝撃的で、印象に残つた。と同時に、理解するためのコミュニケーションと、それを実行に移す行動力が大切だとも考えた。

僕は、僕に気付きをもたらしてくれた母に感謝したい。そして、これからは相手を理解することを心がけ自分のものさしだけで物事を判断しないように強く意識していきたい。(原文とおり)

かんおんじタウン情報

全国大会出場おめでとうございます //



写真提供：(株)フォトクリエイト

第49回マーチングバンド 全国大会中学生の部 「グッドミュージック賞」受賞

大野原小学校・観音寺マーチングバンド
Humming Wind

小学生49人、中学生25人の計74人が出場

12/6 豊浜小が安全功労者内閣総理大臣表彰

学校安全の推進に顕著な功績をあげた学校に贈られる安全功労者内閣総理大臣表彰に、豊浜小学校が選ばれ市長報告会が行われました。地域ぐるみで行う交通安全教室や通学路の安全を調査するマップ・ウォーキングなどが評価されたものです。河内直人校長は「子どもたちを地域で見守り、育てるといふ豊浜ならではの絆や団結力の成果。見直しや改善を図りながら安全・安心な環境づくりをしていきたい」と話していました。



12/17 「讃岐の鼓響」が準名人を受賞

石川県で行われた第18回日本太鼓シニアコンクールで、県内太鼓チームの有志6人で結成した「讃岐の鼓響」が準名人(文部科学大臣賞)を受賞しました。60歳以上の演奏者を対象に個人・団体に競い、団体が同賞を受賞するのは初めてのこと。佐伯市長は「心一つにして勝ち取った素晴らしい賞。今後も地域の伝統として広めていってほしい」と話していました。



1/4 新春福引で運試し!本の貸し出し福袋

新刊本や景品を詰めた「福袋」を貸し出す毎年恒例のイベントを中央図書館で開催しました。ことしは福引で福袋を選ぶ方式で、大人・子ども用合わせて50袋を用意。福袋がことしで10周年を迎えることから、中には当たり付きの福袋も。当たりを引いた女性は「新年早々に福が引けて嬉しい。この運を1年保ち続けたい」と話していました。



12/7 頑張れ受験生!マンホールおまもりで応援

受験シーズンを前に、市役所で先着50人に「合格祈願!マンホールおまもり」を配布しました。「丸い・落ちない・すべらない」と受験生に縁起が良いとされるマンホールにちなんで、下水道課の職員が和紙を使い一枚一枚心を込めて作製したもの。おまもりを手にした受験生や家族は「2月の国家試験に合格できるよう頑張ります」「弟の高校受験を応援したい」など話していました。



12/12 県内移住者が交流「高屋神社登山ツアー」

香川県に移住した人を対象に移住者交流会を開催しました。6歳から60代まで15人が参加し、高屋神社下宮から「天空の鳥居」がある稲積山山頂の本宮まで登りました。参加者は互いに励まし合いながら約1時間かけて頂上を目指し、山頂では「登り切った達成感がある」「お土産が買える自動販売機を初めて知った」と楽しそうに話していました。



12/6-9-14 高齢者向けのスマホ教室を開催

65歳以上を対象に、スマートフォンの基本的な操作を学ぶ教室を市内3カ所で開催し、32人が参加しました。市職員による高齢者の健康づくりミニ講座の後、事業者がスマートフォンの機能や操作方法を説明しました。参加した70代の女性は「1週間前にスマホを持ち始めた。子どもや孫と写真や動画をやり取りできるようになりたい」と話していました。



子どもたちのふるさと応援活動

12/15 豊田小学校 全校生がはがみ苑と交流



元気に過ごしてほしいという気持ちを込めて、干支(えと)の貼り絵やカードを作り、はがみ苑の皆さんにプレゼントしました。

小・中学生が、地域のあちこちで活躍中!さまざまな取り組みを紹介します。

子育て応援情報

パパママ教室 体験コース

安心して赤ちゃんを迎えるために、一緒に準備しませんか。

時 3月13日(日)午前9時～午前11時
(午前8時45分～受け付け)

所 保健センター

内 お産の経過と陣痛時の過ごし方、赤ちゃんのお世話の仕方やお風呂実習

対 妊婦とその家族

数 15組 (先着順)

受 2月14日(月)～25日(金)

持 母子健康手帳、フェイスタオル・バスタオル各1枚、ビニール袋、筆記用具、飲み物、体調確認のアンケート (事前に申込者に送付予定)

注 事前に、市ホームページに掲載している動画を視聴してください。
当日はマスクの着用をお願いします。

申問 健康増進課 母子保健係

☎23-3964

✉kenkou@city.kanonji.lg.jp

●メールで申し込む場合

件名: 「パパママ教室」

本文: 「参加日・住所・氏名(夫婦)・出産予定日・電話番号」を明記してください。



新型コロナウイルス感染拡大の状況により、行事が中止・延期となる場合があります。

相談

家庭児童相談	子育ての不安、養育困難、虐待、家庭内の相談など	土・日曜日、祝日を除く 毎日 午前8時30分～午後5時	市役所 1階 家庭児童相談室
母子・父子自立相談	ひとり親家庭の相談や援助、貸付など	2月9日(水) 午後1時30分～午後4時 (県の専門相談員が対応)	
児童相談(要予約)		2月22日(火) 午前9時15分～午前11時15分	保健センター
心理相談(要予約)		2月22日(火) 午前9時～午前11時50分	

問 子育て支援課 こども・女性相談係 ☎23-3957

問 健康増進課 母子保健係 ☎23-3964

タッチケア&わらべうた

わらべうたを歌いながら、赤ちゃんの心と体に優しくタッチ!

時 2月16日(水)
午前10時15分～午前10時45分
(午前10時～受け付け)

所 ほっとはうす菽

講 乾 昌代先生

対 6カ月ぐらまでの赤ちゃんと保護者

数 6組 (6組を超える場合は別時間を案内)

料 無料

持 バスタオル、飲み物

申問 健康増進課 母子保健係

☎23-3964

主 観音寺市愛育会

市立保育所一時預かり「ひなたぼっこ」の利用について

大野原保育所内「ひなたぼっこ」で、一時的に保育が必要なお子さんをお預かりしています。定員は1日当たりおおむね3人ですが、さまざまなニーズに対応できるよう、空き時間の有効利用など受け入れ環境を整えました。当日の利用状況など、詳しくは問い合わせください。

対 市内に住所がある、生後6カ月～小学校就学前の子ども

料 4時間以内 日額1,000円
4時間を超えると 日額2,000円

注 事前申し込みが必要

問 ひなたぼっこ ☎54-3806

こども未来課

☎23-3903

☎23-3993



令和3年2月生まれ ハロキッズ!! 1歳お誕生日おめでとう Hello Kids!!

令和3年5月生まれの子どもを募集します

受付: 2月1日(火)午前8時30分から(先着順)

申込方法: 秘書課へ電話または窓口で申し込み。

申し込み後、1週間以内に申込書と

写真を提出してください。

窓口: 秘書課 広聴広報係・大野原支所・

豊浜支所・伊吹支所

問い合わせ先: 秘書課 広聴広報係 ☎23-3915



田井 陵護 ちゃん
父 誉裕さん 母 綾香さん



山本 千惺 ちゃん
父 啓二さん 母 優利佳さん

学校給食 食育コーナー

学校給食課 ☎57-6660

「瀬戸のチャウダー」で体の中から温まろう

2月は暦の上では春ですが、1年で一番寒さが厳しい季節です。この時期、学校給食では体の中から温まるメニューを取り入れており、「瀬戸のチャウダー」もその一つです。チャウダーには市や県産の材料を使用しており、中でもふしめんはチャウダーとは意外な組み合わせですが、とても食べやすく人気があります。ぜひ、家庭でも作ってみてください。

瀬戸のチャウダー 材料(4人分)

鶏もも肉40g、玉ネギ大1/2個、ジャガイモ小2個、ニンジン1/3本、ベーコン・エリンギ・シメジ・ふしめん・葉ネギ各20g、水1と1/2カップ、チキンコンソメ・米粉各小さじ1、塩・こしょう少々、牛乳1/2カップ、生クリーム小さじ2



寒い時期に油を使うと、少し冷めた時に表面に油が浮くので給食のレシピでは使用していませんが、家庭では、炒めるときに油を使っても構いません。

作り方

- 鶏もも肉とジャガイモは1.5cm角、ベーコンとエリンギは1cm幅の短冊切り、ニンジンは0.5cmのいちょう切り、葉ネギは0.5cmの小口切り、玉ネギは薄切り、シメジは小房にする。
- 鍋で鶏肉とベーコンを炒める。
- 火が通ってきたら、玉ネギ、ジャガイモ、ニンジン、エリンギ、シメジを加えてさらに炒め、水を入れる。
- 野菜が柔らかくなってきたら、ふしめんを入れる。
- チキンコンソメと塩、こしょうを入れ味付けする。
- 少量の水で米粉を溶かし入れ、とろみをつける。
- 牛乳、生クリーム、葉ネギを入れて、沸騰させない程度に温める。



〈献立〉観音寺学校給食センター

- 全粒粉パン ●ブロッコリーのサラダ
- 豚肉の香りあげ ●瀬戸のチャウダー
- オレンジ ●牛乳